

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
東放学園専門学校		昭和54年4月1日		加藤 諭		〒168-0063 東京都杉並区和泉2-4-1 (電話) 03-3323-8531																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人東放学園		昭和54年4月1日		斉藤晃		〒168-0063 東京都杉並和泉2-4-1 (電話) 03-3378-7538																							
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士																						
工業	工業専門課程		照明クリエイティブ科			平成30年文部科学省 告示第32号	-																						
学科の目的	テレビ、コンサート、演劇等の照明スタッフを育成する学科。ライティングプラン・セッティング・オペレート等、照明に関する知識やスキルを習得する実践教育、ビジネスマナーやチームワーク等を身につける人間教育、創造の感性や熱意を育む自立教育という三つの教育方針を定め、メディアとエンターテインメントの発展に寄与できる人材の育成を目的としている。																												
認定年月日	平成31年3月5日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技																					
	2年 昼間	1700時間		555時間	450時間	1050時間	0時間	0時間 <small>単位時間</small>																					
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
154人		117人		1人	8人	15人	23人																						
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 A:100-85 B:84-70 C:69-60 D:59-50 F:49以下不合格 出席状況と試験、レポート提出、平常点等で評価																							
長期休み	■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月21日～1月6日 ■春季:3月16日～3月31日				卒業・進級条件	①期日までの学費納入 ②必修科目を含む、年間800時間以上、卒業時1700時間以上の修了認定																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 相談内容に応じて、クラス担任、進路担当、専任カウンセラー等が対応。出席不良の学生には、クラス担任が電話やメールで状況を確認し、連絡がつかない場合は、保護者に報告。教職員全員で情報を共有し、組織的に対応している。				課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 部・クラブ活動、運動会、スポーツ大会、学園祭、ボランティア活動 ■サークル活動: 有																							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) 株式会社 TBSアクト、株式会社 エクサート松崎、株式会社 共立、株式会社 テレテック、株式会社 オフィス・ドゥーイング、ライティングビッグワン 株式会社 ほか				主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年4月1日時点の情報)																							
	■就職指導内容 ビジネスマナーや就職試験対策等を必修授業で行い、学内で企業説明会を実施。インターンシップ制度も整備している。					<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>照明技術者技能認定</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>日本語ワープロ検定</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>秘書検定</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>映像音響処理技術者資格認定</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	照明技術者技能認定	③	15人	15人	日本語ワープロ検定	③	1人	0人	秘書検定	③	1人	0人	映像音響処理技術者資格認定	③	1人	1人
	資格・検定名	種	受験者数	合格者数																									
照明技術者技能認定	③	15人	15人																										
日本語ワープロ検定	③	1人	0人																										
秘書検定	③	1人	0人																										
映像音響処理技術者資格認定	③	1人	1人																										
■卒業業者数 : 64 人 ■就職希望者数 : 57 人 ■就職者数 : 47 人 ■就職率 : 82.5 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 73.4 % ■その他 進学、短期契約社員、アルバイト、家事手伝い等				※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 学生・卒業生の受賞状況 「第21回 JPPA AWARDS 2017」学生の部 奨励賞 「第38回 日本照明家協会賞」(2018年度) 【テレビ部門】文部科学大臣賞・大賞 スタッフ賞 選考委員特別賞 新人賞 奨励賞 努力賞 【舞台部門】新人賞 「第40回 日本照明家協会賞」(2020年度) 【テレビ部門】優秀賞 選考委員特別賞 新人賞 スタッフ賞 「日本映画テレビ照明協会 第30回 伊藤幸夫賞」(2021年)																									
(令和2年度卒業生に関する令和3年4月1日 時点の情報)																													
中途退学の現状	■中途退学者		12名		■中退率		9%																						
	令和2年4月1日時点において、在学者136名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者124名(令和3年3月31日卒業生を含む)																												
	■中途退学の主な理由 進路変更、経済的問題、健康上の理由等																												
■中退防止・中退者支援のための取組 専任カウンセラーによるカウンセリングや「24時間電話健康相談サービス」を実施している。また、学生一人ひとりの学校満足度や悩み等を調査・分析するアセスメントツール「hyper-QU」も活用している。																													

<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有 ※有の場合、制度内容を記入 東放学園奨学生制度：経済的に就学困難であると判断された学生に対し、2年後期授業料相当額の奨学金を給付 東放学園特待奨学生制度：特待奨学生資格認定審査で認定された学生に対し、学費の一部を減免 東放学園卒業生子女奨学金制度：本学園卒業生の子女が入学する場合、入学金の半額を減免 東放学園兄弟姉妹奨学金制度：本学園卒業生または在校生の兄弟姉妹が入学する場合、入学金の半額を減免 東放学園特別育英奨学生制度：学業成績および人物的にも優れている学生に対し、後期授業料相当額の奨学金を給付 TOHO会（同窓会組織）「夢応援」奨学金制度：卒業後に社会及びTOHO会の発展に貢献が期待できる学生に対し、上限20万円の奨学金を給付</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>https://www.tohogakuen.ac.jp/toho/lighting/</p>

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

高度な実践力や威力の発揮に欠かせない人間性や自立心を育み、環境や技術等の変化が著しい当該業界において順応力を持った人材を輩出するために、

- ①学生が享受すべき知識や技術について、連携企業との日常的なコミュニケーション・意見交換を通じて、教育課程の編成や教育環境の構築に関して、積極的に反映させる事。
- ②就職先ともなり得る連携企業に所属する社員を講師として招聘し、実習・演習授業において実利性・専門性が高いカリキュラムを構成する事。

以上を、企業等との組織的な連携の基本方針としている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長を委員長とし、以下、副校長、教務教育部長の他、就職指導や就職先企業の交渉等を主な業務とする学務管理部業務主任や学科運営を主たる業務とする学科主任を学内の委員とし、学科が委嘱する業界企業の方と業界関連団体に所属し、実践の環境を熟知し、あるいはそれらを俯瞰し統括する立場の方を学外の委員として構成している。

学外委員からは当該業界の動向や変化等について、学内委員からは学事や学生の動向等について意見交換を行い、積極的な情報共有を図る。

また、カリキュラムのあり方や授業の構成について、同業界において求める人材像や育むべき人間性や実践力について等、これらの具体的な要件に関しても意見交換や議論を行い、教育課程決定の基とする場として位置付けている。

当委員会の内容は、学内委員により学科毎に実施されているカリキュラム会議で発議がなされ、学科担当職員との意見交換を経て、重要度の高い項目等から教育課程の編成に取り入れられる。反映された項目は、次回以降の同委員会でフィードバックがなされ、今後の会議運営に役立てる事とする。以上を教育課程の編成に関する意思決定の過程としている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
工藤 英博	一般社団法人 放送人の会 理事	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年間)	①
緒形 京	一般社団法人 日本ポストプロダクション協会顧問	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年間)	①
大滝 功	有限会社 フラッグス 代表取締役	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年間)	③
阿部 智昭	株式会社 エヌ・エス・ティー 常務取締役	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年間)	③
富田 健吾	株式会社 ブル 常務取締役	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年間)	③
稲津 慎司	株式会社東京舞台照明 ライティング事業部副部長 ビジネス法務リーダー	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年間)	③
高松 浩則	株式会社 アックス メディア事業グループ チーフプロデューサー	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年間)	③
加藤 諭	東放学園専門学校 校長 教育課程編成委員会 委員長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年間)	
堀内 和人	東放学園専門学校 副校長 教務教育部長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年間)	
亀山 治	東放学園専門学校 学務管理部長	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年間)	
副島 照礼	東放学園専門学校 教務教育部 照明クリエイティブ科 学科主任	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (1年間)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)
年2回 (10月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年10月10日 14:00～15:30

第2回 令和3年3月26日 14:00～15:00 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催方法変更)

(開催日時(令和3年度予定))

第1回 令和3年9月28日 14:00～16:00

第2回 令和4年3月吉日 14:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

一回目の委員会で、企業や業界団体の学外委員から業界の動向や学校に求める人材育成像(知識・技能)、教育課程編成の助言等を聴取した上で学内委員との協議を行い、学科担当教員で構成するカリキュラム会議で教育課程の編成案を作成し、二回目の委員会で、学外委員への報告と協議を行い、次年度以降の教育課程の編成や授業内容の改善等に反映している。

【具体的な助言と取り組み】

・安全管理については、従来から学生指導を徹底しているが、委員からの助言を反映し、全国舞台テレビ照明事業協同組合による「足場の組み立て等特別教育」講習及び、「フルハーネス型墜落制止用器具特別教育」講習を、全学年を対象に学内で実施。国家資格化への対応として、今年度も講習を継続していく。また、コロナ禍にて昨年度は実施ができなかった電気の基礎講習及び実地での仮設電源システムの解説を、三穂電機株式会社全面協力のもと、国立事業所テクニカルセンターにて、2年生対象として行う予定。
・業界動向に即した、ネットワークシステムの理解及び最新LED機器の研究を目的に、今年4月に開催された株式会社エンジニア・ライティング主催のMTCオンライン講座に職員が参加。受講内容を元に、授業への活用方法計画的な導入を検討している。
・就職関連の助言に対しては、進路指導や就職支援の参考とし、就業意識に関する指導や面接対策を強化するなど、キャリア教育の充実化に努めていく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

①テレビのみコンサートのみと活躍の場を限定しない教育、繰り返しの実習で段階的に習熟度を高める教育等を重点項目としている本学科において、これらの目的を達成するため、テレビ・コンサート・舞台演劇等のジャンルを担当業務としており、かつ、継続的に学外講師として担当いただける企業、学生の就業先となり得る連携すべき企業を選択する事。

②「現場が必要とする人材」を最も効果的に育む事ができる、現場の一線で活躍している企業や外部講師から助言をいただき、それを積極的に反映させていく事。

③実習・演習授業において、授業回毎の具体的な内容や、学生の習熟度を鑑みながらの教育の程度・水準等について、学内の学科担当職員と議論や意見交換を図る等、同企業との連携を図りながら授業を担当していただく事。

以上3項目を、企業等との連携に関する基本方針としている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本学科1年次では、コンサート・舞台系照明技術とテレビ照明技術の2分野に関して、技術の基礎や実地トレーニングを理解・体得する実習・演習等で、各職種に実際に携わっている企業と連携し授業を実施している。準備から本番における照明演出に関わる知識や技術の理解の達成度や、各作業の忠実度や意欲等を含めた学修成果の評価を実施していただいている。

2年次では、学生の志望職種への理解度や実践力を高めるために、学外のコンサートホールでの実践やテレビ番組の模擬制作等を通して、「照明の仕事」全般に関わる総合的な実習も実施。1年次と同様に照明業界に従事している企業等と連携しながら授業も担当いただき、授業ごとに設定する目標到達度を勘案しながら学修成果の評価を実施していただいている。

また、連携企業や外部講師を招聘し、学科担当職員全員・就職担当職員との懇談の場である講師会を実施。連携企業や講師との意見交換と情報共有を図り、各担当授業のシラバスや具体的な実習・演習内容を検討したり確認したりしながら、教育課程の充実と教育内容・学校職員の質向上に努めている。

上記会議体のみならず、連携企業や協力いただいている外部講師とは、定期的に当該現場の動向や変化、学生の資質等の情報を交換しながら、細やかな話し合い・コミュニケーションを通して、上記主旨同様の効果を図るための対策を常に施している。

(3) 具体的な連携の例 ※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
舞台照明基礎	コンサート・舞台照明で使用される機材やライトの吊り込み方法等、関わる作業のそれぞれを基礎から体得します。	有限会社イーストウエスト 児島由明
舞台照明実習Ⅱ	ホールを使用した実習で、本番の経験を積みながら、2年次の実習授業として、チームワークや効率的な作業方法を習得します。	有限会社イーストウエスト 児島由明
テレビ照明基礎	テレビスタジオで使用される機材や基本的なライティング方法を、「触って慣れる」をコンセプトに体得します	株式会社フジ・メディア・テクノロジー 代表取締役社長 河井實之助
ロケーション照明	他と比較して様々な制約が伴う屋外のロケーションにおける、灯りの作り方や効率的な照明方法を体得します。	株式会社フジ・メディア・テクノロジー 代表取締役社長 河井實之助
コンソールプログラミングⅡ	ムービングライト等をコントロールするための専用アプリケーションの操作方法や具体的で実践的なプログラミング方法を学びます。	株式会社テクニコ 代表取締役 諏訪寧三

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本校では、教員研修規程として教員研修の目的、方針、教員の責務、報告などの事項を定めており、教員の業務経歴や能力、担当する授業科目等に応じ、専攻分野の実務に関する知識、技術、技能並びに、学生に対する指導力等、教員の能力及び資質等の修得・向上を図るため、適宜、企業等と連携した研修を行うことを基本方針としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: InterBEEオンライン研修視察 (連携企業等: 一般社団法人電子情報産業協会)

期間: 令和2年11月18日(水)/対象: 照明クリエイティブ科 教員

内容: 最新照明機材の視察及び説明

研修名: 劇団四季「アラジン」研修視察

期間: 令和3年1月16日(土)/対象: 照明クリエイティブ科 教員

内容: ミュージカル公演における、最新照明技術の視察及び説明

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 教職員オンライン研修会

講師: 学校法人東放学園 法人本部 小林和治

期間: 令和2年6月13日(土)/対象: 東放学園 教員

内容: テレワークにおける情報セキュリティ対策

研修名: オンライン授業の作り方～ハイブリッド教育の推進に向けて

講師: 株式会社東芝、日本大学非常勤講師 岩瀬慎平氏

期間: 令和3年2月13日(土)/対象: 東放学園 教員

内容: 対面式授業とオンライン授業の違いについて/オンデマンド授業、ハイブリッド授業の制作

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 日本照明家協会新人講座 (共催: 全国舞台テレビ照明事業協同組合)

期間: 令和3年4月3日(土)～4月4日(日)/対象: 照明クリエイティブ科 教員

内容: シミュレーションソフトの現状と課題、リモートフォローシステムの機材紹介、各種メーカー機材紹介

研修名: MTCオンライン研修 (連携企業等: 株式会社エンジニア・ライティング)

期間: 令和3年4月14日(水)～4月15日(木)/対象: 照明クリエイティブ科 教員

内容: シミュレーションソフトの現状と課題、リモートフォローシステムの機材紹介、各種メーカー機材紹介

研修名: InterBee (連携企業等: 一般社団法人電子情報技術産業協会)

期間: 令和3年11月17日(水)～11月19日(金)/対象: 照明クリエイティブ科 教員

内容: 最新LED機材及び最新操作卓の視察/説明

研修名: ProLight&Visual2022(連携企業等: 一般社団法人日本能率協会)

期間: 令和4年2月16日(水)～2月18日(金)/対象: 照明クリエイティブ科 教員

内容: 最新LED機材及び操作卓の視察/説明

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: ラテラルシンキング研修～新たな発想を生み出す力 (主催: ㈱インソース)

期間: 令和3年5月6日(木)/対象: 東放学園 教員

内容: アイディアを絞り込むときや実現に向けての思考方法について

研修名: 教育総合展 (連携企業等: リード エグジビション ジャパン株式会社)

期間: 令和3年5月12日(水)/対象: 照明クリエイティブ科 教員

内容: 教育ITソリューション他、最新教育機器や方法論の視察/説明

研修名: 仕事の進め方研修～PDCAを強化する(学内研修)

期間: 令和3年7月28日(水)/対象: 東放学園 教員

内容: 業務改善や目標達成の為に、継続的に生産プロセスを改善していくのに必要な構造を学ぶ

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

(法人の基本方針)

- ①教育の一層の充実を図り、学校の目的および社会的使命を達成するため、各校における教育活動等の状況について定期的に関係者評価を行い、随時改善を図ることを目的とする。
- ②学園は充実した学校評価制度の構築に努め、各校・各部門はこれを実施する体制を整える。
- ③各校・各部門は、情報公開を念頭に揚げ、より高い基準を設定し関係者評価を実施する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	使命、行動指針、教育方針、理念、目的、育成人材像
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定システム、情報システム
(3) 教育活動	目標の設定、教育方法・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許取得の指導体制、教員・教員組織
(4) 学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、卒業生・社会人
(6) 教育環境	施設・設備、学外実習・インターンシップ等、防火・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動、入学選考、学納金
(8) 財務	財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報の公開
(9) 法令等の遵守	関係法令・設置基準の遵守、個人情報保護、学校評価、情報公開
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献の取組み、ボランティア活動の取組み
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

結果を活用し教育活動および学校運営の質の保証と向上に継続的に努めるための改善措置を随時行っている。

委員の意見やアドバイスを尊重し「即対応できること」「時間をかけて取り組むこと」などを検討・判断し可能な限り出来得ることから改善を行っている。(カリキュラムの改革、機材の購入、教員のスキルアップなど)

【具体的な取組み】

毎年度高い就職率を維持しているが、即戦力の強化に向けた人間育成を意識した就職指導も行っている。コミュニケーション能力やビジネスマナーを基礎とし、当該業界で求められる人材像を的確に捉え指導し、学生と企業で意識の相違が無いよう努めている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
岸田 真	桜美林大学 芸術文化群 教授	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 (2年間)	教育・学校運営に関する有識者
小河原 義一	卒業生 元(株)TBSテックス	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 (2年間)	卒業生
末岡 俊一	株式会社 ザ・ワークス	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 (2年間)	就職先及び関連業界関係者
田口 裕基	日本大学 鶴が丘高校 教諭	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 (2年間)	高校の教員
小川 明美		平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 (2年間)	保護者
小川 尚人	(一社)日本ポストプロダクション協会	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 (2年間)	就職先及び関連業界関係者
深井 一彦	(株)パシフィックアートセンター	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日 (2年間)	就職先及び関連業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.tohogakuen.ac.jp/>

公表時期: 令和3年5月

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

認可された教育機関として、社会への説明責任を果たすとともに、教育の質保証・向上の観点から、学生、保護者、地域住民、関連業界企業等に教育活動や学校運営の状況に関する情報を提供する。また、同窓会組織や東放学園キャリアサポートセンターと連携を図り、卒業生や企業等から積極的に意見を聴取して、業界のニーズを反映した教育環境の整備や教育課程の編成に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	基本理念、使命、行動指針、教育方針、学園概要、沿革、お問い合わせ
(2)各学科等の教育	募集学科・募集定員、照明クリエイティブ科、照明クリエイティブ科カリキュラム一覧、資格取得
(3)教職員	学園概要(校長名、教員数)、※学校公式ブログ
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	部&クラブ活動紹介、機材・設備
(6)学生の生活支援	留学生生活支援、学生寮
(7)学生納付金・修学支援	学費、奨学制度・教育ローン、奨学制度(留学生)
(8)学校の財務	情報公開(財務情報)
(9)学校評価	情報公開(自己評価報告書、学校関係者評価報告書)
(10)国際連携の状況	留学生の方へ
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(学校公式ブログ))

ホームページ(URL:<https://www.tohogakuen.ac.jp/>)

学校公式ブログ(URL:<http://blog.tohogakuen.ac.jp/toho/>)

授業科目等の概要

(工業専門課程 照明クリエイティブ科) 令和三年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		音楽概論	コンサートライブ照明に欠かせない、楽譜・楽器・メロディーライン等の楽曲知識全般を学び、照明デザインとその表現力を高めます。	1前	30		○			○			○	
	○		業界特別講座	関連業界の一戦で活躍しているスタッフを招聘し、業界人としてプロフェッショナルとして必要な心構えを学びます。	1後	30		○			○		○	○	
	○		コンサート照明 I	コンサートホールの照明関連設備や本番までの流れを理解しながら、コンサート照明に関する基礎知識を学びます。	1後	30		○			○			○	
○			就職講座 I	就職活動の進め方、履歴書作成と面接突破に欠かせない「自己理解」を、自分の言葉で語る力を身につけます。	1前	30		○			○		○		
○			就職講座 II	「就職講座 I」を基に、履歴書の具体的な記入方法を習得。面接シミュレーションによって実践的な力を身につけます。	1後	30		○			○		○		
	○		テレビ照明テクニック	音楽・ドラマ等のジャンル毎の具体例を元に、照明作りの基礎となる「灯りのコンセプト」や使用機材を学びます。	1後	30		○			○			○	○
○			テレビ照明論 I	テレビと照明の関連性や歴史を理解しながら、テレビスタジオの照明設備やテレビ照明の仕事を学びます。	1前	30		○			○			○	
○			電気基礎	電流と電圧の関係や安全な取り扱い方法等、照明業界で必要となる電気の知識を身につけます。	1前	30		○			○		○		
	○		番組制作論 (短期)	映像構成の手法や台本の読み方・専門用語等、番組制作の基礎知識を学び、他の役割・仕事の理解を深めます。	1前	15		○			○		○		
○			ビジネスマナー講座	社会人に必要なビジネスマナーやコミュニケーションの重要性を理解し、好感度の高いスキルを体得します。	1前	30		○			○			○	○
○			舞台照明論 I	舞台照明の実践トレーニングに必要な、舞台の仕事や使用する照明機材等の関連基礎知識を学びます。	1前	30		○			○			○	
	○		ミュージックライティング基礎	音楽における照明効果から、楽曲構造・拍数の理解に進み、ピンスポット操作を含めての音の灯りを学びます。	1後	30		○			○			○	
	○		映像制作	照明の仕事に密接に絡み合う撮影や映像製作に関して、映像構成法や撮影技術等、他の役割を学びながらチームワークを育みます。	1前	60			○		○		○		
	○		CAD実習	照明のスタンバイに欠かせない照明仕込み図を作成するための、作図専用アプリケーションの使用法を学びます。	1後	30				○	○		○		
	○		校外学習 I	歌舞伎・演劇・ミュージカル・美術等を鑑賞。光と演技・演出の関連性を学び、照明そのものへの見識の幅を広げます。	1通	30				○		○	○		
	○		コンソールプログラミング I	ムービングライト等、PCによってコントロールする照明機材を使用して、基本的な動作や操作方法を学びます。	1後	60				○	○			○	○
	○		照明システム	仮設で電源線や制御線を用意する照明環境で、その作業の効率的な方法やシステムの構築方法を基礎から学びます。	1後	60				○	○		○	○	
○			テレビ照明基礎	テレビスタジオで使用される機材や基本的なライティング方法等を、「触って慣れる」をコンセプトに体得します。	1前	60				○	○			○	○

○		テレビ照明実習Ⅰ	テレビスタジオでの照明の仕事やドラマや音楽番組のライティングの基礎、テレビカメラを通しての見せ方を学びます。	1後	60					○	○	○								
	○	電気工作(短期)	照明関連機材を自作したり自分で直せたりできるよう、各種工具や電気計測機器の使用方法を習得し、知識の幅を広げます。	1前	30					○	○							○	○	
	○	特殊効果・電飾実習	テレビ番組からコンサートライブ・イベントなどの美術演出の一部として欠かせない、特殊効果・電飾技術の手法を学びます。	1前	30					○	○							○	○	
	○	Pinspot実習(短期)	ステージ上でアーティストを照らす白い光、ピンスポットの基本操作や効果的な照射方法を体得します。	1後	30					○		○	○	○	○	○				
○		舞台照明基礎	コンサート・舞台照明で使用される機材やライトの吊り込み方法等、関わる作業のそれぞれを基礎から体得します。	1前	60					○	○							○	○	○
○		舞台照明実習Ⅰ	外部ホールでのルールやマナー、コミュニケーション力を鍛えながら、本番までの作業の流れを学びます。	1後	60					○		○	○	○	○	○				
	○	ロケーション照明	他と比較して様々な制約が伴う屋外のロケーションにおける、灯りの作り方や効率的な照明方法を体得します。	1後	60					○	○							○	○	
	○	技能認定講座	照明技術者技能認定2級の取得に必要な、機構・照明設備・電気や光の基本知識や安全作業について学びます。	2後	30					○		○						○		
	○	芸術鑑賞	ジャンルを問わない優れた映像作品の数々を、プロに近い目線で鑑賞。クリエイターの感性やセンスを磨きます。	2後	60					○	○		○							
	○	コンサート照明Ⅱ	コンサート・ライブでの「体で浴びるライティング」を実現するために、関連作業の理解度を高め、安全かつ効率的な手段を体得します。	2前	30					○		○							○	
	○	就職講座Ⅲ	間近に控えた就職活動に向けて、優れたエントリーシート・優れた面接対応等、「内定を勝ち取る」術を体得します。	2前	30					○		○								
	○	フォローアップゼミ	採用活動を行っている企業を招聘し話を伺い、求める人材像を通して魅力ある自己表現の方法を学びます	2後	30					○		○								
	○	テレビ照明論Ⅱ	1年次に習得した基礎理論を土台にして、番組毎の照明の特性や撮影環境に左右されない照明技法を体得します。	2前	30					○		○							○	
		舞台照明論Ⅱ	1年次に習得した基礎理論を土台にして、舞台上で使用される照明関連機器の理解度を高めると共に、安全管理意識も高めます。			○		○				○								
	○	校外学習Ⅱ	歌舞伎・演劇・ミュージカル・美術等を鑑賞。光と演技・演出の関連性を学び、照明そのものへの見識の幅を広げます。	2通	30					○		○	○							
	○	コンソールプログラミングⅡ	ムービングライト等をコントロールするための専用アプリケーションの操作方法や具体的で実践的なプログラミング方法を学びます。	2前	60					○	○								○	○
	○	コンソールプログラミングⅢ	「コンソールプログラミングⅡ」で習得した知識や技術を基に、さらに高度なプログラミングとライティングプランの作成を目指しながら、理解度を高めます。	2後	60					○	○								○	○
	○	テレビ照明実習Ⅱ	視聴者の感心を呼ぶ照明とは何か、番組や出演者を引き立てる照明とは何か。これまでの実習を生かしながら照明の完成度を高めます。	2通	150					○	○								○	○
	○	舞台照明実習Ⅱ	ホールを使用した実習で、本番の経験を積みながら、2年次の実習授業として、チームワークや効率的な作業方法を習得します。	2通	150					○		○	○	○	○	○				
	○	ライトコンパース	「L8(ライトコンパース)ソフトウェア」の操作を通して、コンサートライブ等におけるビジュアルデザイン技術を習得します。	2後	60					○	○								○	○
	○	番組制作演習	各学科連携して、情報教養・バラエティ・音楽ジャンルの番組制作シミュレーションを通して、番組制作全般への理解・チームワークと関連技術の向上を目指します。	2前	210					○		○	○							

○	野外ライブゼミ	雨の中や暗闇の中など、環境に関わらない作業や進行方法を理解しながら、2年次前半の実習として「学生が主体的に動く」実践授業です。	2前	150				○		○	○		
○	コンサート照明演習	スタンバイ・機材搬入・セッティング等、関連作業の更なる効率化を目指しながら、安全作業・意識とライティングの完成度を高めます。	2前	180				○		○		○	
	演劇照明演習	舞台上の俳優・演技と密接に絡み合う舞台照明のプランとそれに関わる作業について、演出的観点も含めながら体得します。						○		○		○	
合計			42科目	2055単位時間									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
【卒業要件】 ①期日までの学費納入 ②必修科目を含む、年間800時間以上、卒業時1700時間以上の修了認定 【履修方法】 初回の授業（ガイダンス）で内容を確認し、期日までに履修科目の登録を行う	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。